

# 重点分野のサーキュラーエコノミー「モデルプロジェクト」推進 国内繊維産業の再生構想

繊維産業は大量生産による大量消費・大量廃棄の問題、資源調達から製品廃棄に至るプロセスにおける大量のエネルギー消費の問題、繊維から発生するマイクロファイバーによる環境汚染の問題、合成繊維から染料・加工剤に至るまでの化学物質依存など、多方面にわたる課題を抱えている。さらに日本は、繊維系国内ものづくり産業の衰退によって産業の循環経済モデルが成立しにくい問題もある。

これらの課題に対応するため、繊維製品に適するCE型ビジネスのモデルプロジェクトを推進し、国内繊維産業の蘇生と繊維産業の世界的社会課題解決への道筋を示す。

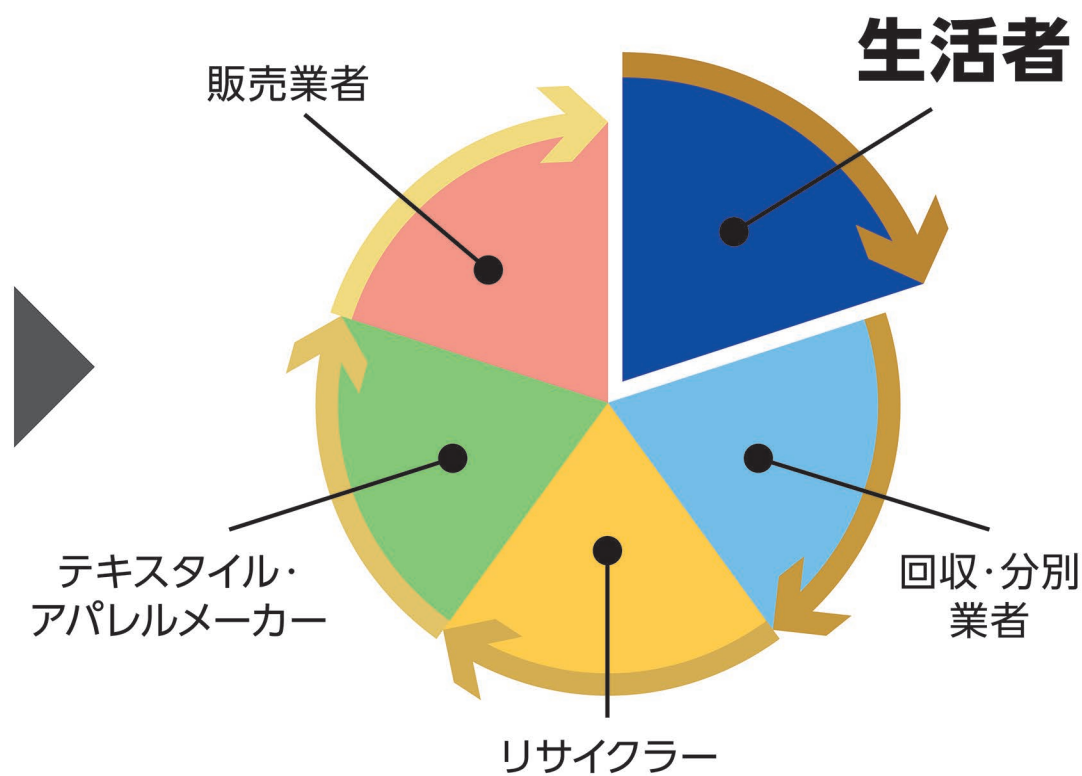
## 【繊維産業の目指すべき姿】

### 大量生産大量廃棄からの脱却

- 繊維は資源であることへの理解促進。
- 「使い倒して、捨てない」仕組みの確立。

### サステナビリティの向上

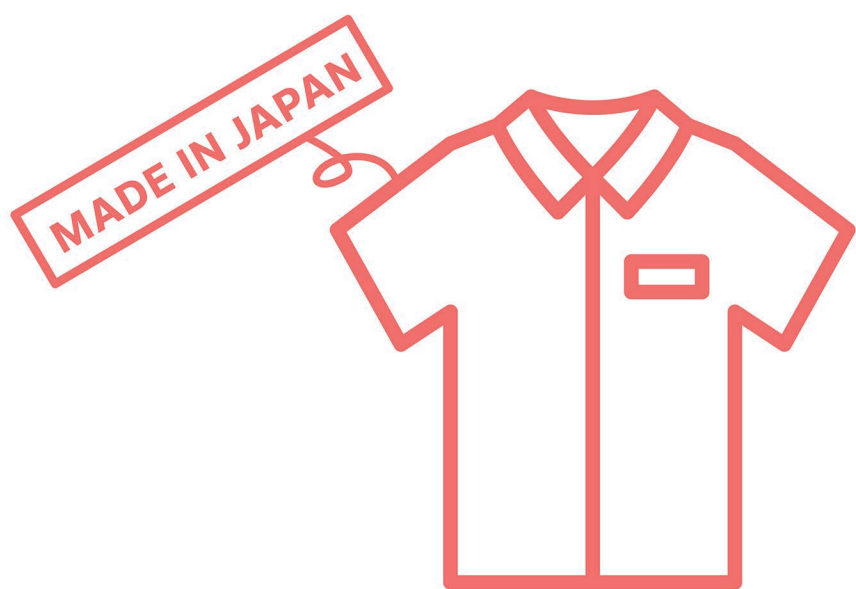
- 国産品の供給率(自給率)の向上を通じて、国内繊維産業における労働条件を改善。
- 組成情報の追跡が容易である国産品の供給率向上により、リサイクルの促進に寄与。



生活者を含む繊維産業全体が構成する循環モデル

## 提案①

### 【国産品メーカーの伴走支援】



SuMPOの理念に共感いただける国産品メーカーを発掘し、そこで製造される製品について、CEの観点から海外製品に対する優位性を検証する。検証結果を活用し、サステナブル経営の伴走支援を行っていく。

## 提案②

### 【使用済み衣料品の回収モデル構築】



衣料品の大量廃棄からの脱却には、生活者にとって利便性の高い回収拠点の設置が必要であると考えられる。併せて、素材ごとに適切な分別を行うことで、より効率的な循環を作り出すことができる。これらを考慮した新しい回収モデルを提案し、実証を経て社会実装を図っていく。



問い合わせ先  
SX戦略事業部  
連絡先: info@sumpo.or.jp

